



萩市須佐地域

公民館だより

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

令和8年

6月

第635号

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

手作り団子でゴキブリ退治！

須佐あおば勉強室



「おいしい団子にな〜れ」：須佐公民館調理室で

《今月の話題》

- 須佐地域の歴史とも関連する津和野へ
～須佐ふれあいウォーク～・・・・・・・・・・2P
- R8年度：公民館学級スタート・・・・・・・・・・3P
～表紙～ゴキブリ団子作り
- 萩市春の花いっぱい運動審査結果・・・・・・・・8P
- 須佐地域のゴールデンウィーク・・・・・・・・9P
- 新コーナー『山岡保治の今昔物語』・・・・・・10P



津和野城跡を散策

須佐ふれあいウォーク（地域外編）



4月29日（水・祝）、須佐スポーツ振興会須佐支部主催の「須佐ふれあいウォーク」が開催されました。

この事業は、体力維持と世代間交流の場として毎年開催されていますが、平成25年7月の豪雨水害やコロナウイルス感染症により、ここ数年間地域内で開催されていません。

しかし、コロナウイルス感染拡大予防も緩和され、須佐地域の歴史とも関連深いものがあるということで、今年は津和野町の津和野城跡を目指そうということとなり、久々に地域外でのウォーキングとなりました。

弥富と小川をまたぐ竹城山には、津和野城主であった吉見氏の出城があったそうです。津和野城の本丸から竹城山が見えるか確かめてみようということで、今回、津和野城に上がることにしました。

参加者は23名で、中には歩き切る自信がなさそうな方もおられました。登山用リフトも利用できるというので、参加することを決められた方もおられました。

津和野までは、津和野城へ登るリフトの下あたりまでマイクロバスで



こ～んな急傾斜が頂上まで…

移動し、そこからは、歩いて上まで登る人、リフトを使って登る人に分かれ、上で待ち合わせをすることとしました。

歩きでも、「そんなにきつくないよ、歩いてでも登れる距離だよ」と聞いていたため、足に自信がない人でも登れるかなと安易な気持ちで登り始めたけれども、最初の登り口から急傾斜で「えっ、こんな険しいの」と自信がなくなってきました。

中には、「登り口に杖が置いてあったよ」と言つて、木の杖をつきながら歩いている人もいました。聞いた



石垣への道を歩く参加者たち

話とはずいぶん違って、道のりは随分険しく、「最初の話と違う、もう無理」と言う方もいましたが、他の参加者と一緒に登ることで、何とかリフトが登ってくる場所まで、



津和野城跡から青野山をバックに歴史の学習

たどり着くことができました。

聞くところによると、後ろの方で歩いて登られていた方が、足が痛くなり、元に戻ってリフトで登ってこられた人もいました。

しかし、そこはまだ頂上ではなく、そこから今度は、急な鉄板の階段を何段も登って、ようやく津和野城本丸の最高所三十間へと着きました。

そこから見える、津和野の街並みと青野山の絶景は素晴らしかったのですが、竹城山の方は、木が生茂っていて見ることができませんでした。

お昼は、津和野の風景を楽しみながら、見晴らしの良い高所でお弁当を広げ、その後、太鼓谷稲成神社まで下り、お参りをしてから、また階段を下りて、約1時間の自由時間を満喫し、須佐公民館へと戻りました。思っていたよりも少しきつかったふれあいウォーキングでしたが、「また行こうね!」と参加者同士で笑顔で話されていました。

皆さん、大変お疲れさまでした。



歩いた後のご褒美ケーキ



参拝をする参加者

下関で防災研修！

須佐さつき学級・開講式



「火事だー！」と勢いよく消火訓練！

今年度の須佐さつき学級が、いよいよスタートしました。5月14日（木）第1回目は「もしもの時に備えよう」をテーマに、下関市消防局内の消防防災学習館「火消鯨（ひけしくじら）」と「山口西部消防指令センター」で、防災について学びました。参加者は26名でした。

まず火消鯨にて映像学習。いつ起きてもおかしくない地震のメカニズムや、家具固定、水の蓄えといった日頃の備えの具体策を学びました。また消火体験では、水消火器でスクリン上の火を消す訓練に挑戦し

ました。その他、煙が充満した部屋でハンカチや腕で口元を覆いながら、壁伝いに進む方法も学びました。

続いて下関市、美祢市、長門市の119番通報を一カ所で受けて指令を出す山口西部消防指令センターを見学しました。指令を出す為のシステムや設備



参加者全員で記念撮影：防災学習センターで記念写真

について説明頂きました。その中でセンター長の木原さんが、「普段と違う、普通じゃない体調変化が自分の身に起きたら、迷わず119番通報してください」という言葉が、とても印象に残りました。

学習後は、カモンワープで各自、昼食と買い物を楽しみました。

公民館帰着後、解散前に「火事を見つけたときの第一声は？」と聞いかけると、皆さんから「火事だ！と周りに知らせる！」と答えが返ってきました。しっかり学び、しっかり楽しんだ、非常に実りある研修になりました。

ゴキブリ団子作りでスタート！（表紙）

須佐あおば勉強室・開講式

5月19日（火）、今年度第1回目の教室は、昨年と同様、「ゴキブリ団子作り」で始まりました。

開講式では、吉田公民館長が「とにかく、出ることに重点を置き、皆さん元気に参加して下さい」と挨拶されました。

さあ、いよいよゴキブリ団子作りです。ゴキブリ団子の主な材料は、ホウ酸です。このホウ酸は、ホウ素オキシ酸のことで、無色または白色の粉末状の物質です。殺菌効果があ



材料を混ぜて耳たぶくらいの硬さまでこねるよ！

り眼を消毒したりする、医薬用医薬品にも含まれています。ゴキブリの駆除に使われるのは、この殺菌効果があるためです。

ゴキブリは匂いに敏感で、ゴキブリ団子に用いられた材料の好みの匂いに誘われ、団子を食べたゴキブリは脱水症状となり水を求めるため、水回りに移動して死ぬことが多いようです。

また、団子を食べたゴキブリは、半日から5日で死ぬそうです。但し死ぬまでに、仲間に危険を知らせるため、他のゴキブリが警戒して家から逃げるといふ説があるようです。

昨年参加された方から、「ゴキブリ団子よう効くよ！」「だから毎年やつてほしい」と大絶賛。今年



団子をキャップに入れて乾燥！

年は、初めてゴキブリ団子を作る方もおられ、参加者は25名でした。出来上がったゴキブリ団子は、表面が白っぽくなるまで乾燥させた後、家の中のゴキブリが出そうな所へ置けば、ようやくゴキブリ退治として発揮できます。是非、皆さんも手作り団子でゴキブリを家から追い出しましょう！

子育て支援日記

テーマ／卒業後の僕たち・私たちの歩み

「人を変える力、

美容の仕事から学んだもの」

草野 勇 生（河原丁出身）

美容師になるまでの経緯

高校を卒業して山口から福岡へ。子どもの頃から「人を笑顔にできる仕事になりたい」と思っていて、髪を整えたりメイクを研究したりするのが自然と好きでした。そんな気持ちでずっと続き、「やるなら本気で美容の道に進もう」と決心して美容専門学校を選びました。

学校では技術を身につけるための反復練習が本場に厳しかったです。

最初は、ハサミの持ち方ひとつで指を切ることもあって、うまくいかない日が続いたこともありましたが、それでも「手が覚えるまで繰り返し」ことの大切さを体で学びました。技術だけでなく、礼儀・姿勢・時間の管理など、人としての基礎も叩き込まれた2年間でした。朝早くから夜遅くまで練習を重ね、仲間と励み合いながら研鑽の日々。昔から「人を笑顔にできる仕事をしたい」と思っ

ていて、その中でも美容の世界はずっと憧れでした。ヘアスタイルひとつで印象が変わったり、誰かの気分を明るくできたりする。その“変化を生み出す力”に惹かれたのが、美容学校を選んだ一番の理由です。

入学後は思っていた以上に厳しいけれど、少しずつ上達する感覚がうれしかったです。美容師としての“土台”をつくれたのは、この時期の努力があったからだと思います。

美容師への一歩を踏み出す

卒業後は、福岡市内の美容室に就職。社会人として初めての現場に立つときは、緊張で手が震えるほどでした。先輩たちは本当に忙しく動き回る中で、お客様への声かけや仕事の段取りまで自然にこなし、その姿を見て「かっこいいな」と感じました。技術以外にも、周囲への気配り・タイミングの見極め・フォローの仕

方を間近で学んでいきました。例えば、施術中にお客様が少し疲れている様子なら会話を控えめにする、逆に楽しそうなときは明るく話を盛り上げるなど、“空気を読む力”が少しずつ身についていきました。

スタイリストデビューまでの道のり

それからスタイリストデビューまでは練習の毎日でした、特にシャンプーやカットの基本動作を体に染み込ませるための反復練習は、手が荒れても繰り返しするような根気のいる作業。帰宅してからもマネキンを相手に練習を重ねる日々でした。



でも、そんな努力の中で“技術の精度”だけじゃなく、“人の髪を触る責任感”や“相手へのリスペクト”を学べたと思います。そして、仲間と助け合いスタイリストデビュー。それまで支えてくれたお客様への感謝を胸に、自分の名前です約をいただけるようになったときの喜びは今でも忘れられません。

お客様との接し方

お客様との接し方では「相手のペー

空気を読む力



そうした細かい部分を大切にすること姿勢が、プロとしての差になることを身をもって知りました。最初は失敗ばかりだったけれど、先輩に見守られながら少しずつ自信を積み上げていきました。

お客様との接し方についても、多くの気づきがありました。ただ髪を切るだけではなく、その人がどんな気持ちで来てくれているのかを感じ取ること。疲れている方にはリラックスできる空気を、悩みを持つている方には少しでも前向きになれる時間を。そんな風に「お客様の時間を

大切にすること」を常に意識してきました。会話のテンポや声の大きさ、目線の合わせ方など、細かい接客の一つひとつに気を配るうちに、自然とリピーターのお客が増えていき「あなたにお願いしたい」と言われた瞬間は、何度経験しても嬉しいものです。



23歳でスタイリストデビューを果たし、同じ頃に地元・山口出身のパートナーと結婚。24歳で父親となり、家庭と仕事の両立を意識するようになりました。最初のうちは時間のやりくりも大変だったけれど、家族の存在が自分のモチベーションそのものになりました。27歳で2人目の子どもも生まれ、責任感がさらに強くなっていきました。

店長としての役割

28歳で店長に昇格。お店全体を見渡す立場になってからは、技術だけでなく、人を育てることの難しさや面白さを感じています。

責任を強く感じるの、やっぱりスタッフやお客様の笑顔を見たときです。うまくいった日ほど、「これは誰かの努力と協力があってのもの

だ」と感じます。スタッフが成長して一人前になった姿を見た瞬間も、胸が熱くなります。自分が教えた技術や心構えが、他の誰かを通してお客様に届いていると思うと、店を支える責任の重さとやりがいと同時に感じるができます。

教える立場になって思うのは、技術は当然大事だけど、それ以上に“人としての在り方”を伝えたいということ。接客業だからこそ、言葉遣いや表情、身だしなみ、ちょっとした気配りまで含めて「人に好かれる人であること」を大切にしています。鏡の前に座るお客様は、髪型を変えることだけが目的じゃなくて、少し気持ちを前向きにしたいときもあります。その瞬間に、どう関わってかで美容師の価値が変わると思っています。

チームワークが働き方を変える

スタッフにもよく話すのは「技術の上手さはもちろんだけど、相手の立場に立てるようになってこそ本物の美容師」だということです。お客様が言葉にしきれない気持ちを汲み取れるようになれば、自然と信頼が生まれます。だから何か失敗したときも、叱るだけじゃなく「なぜそうなったか」「どうすれば次に活かせるか」

と一緒に考えるようにしています。店長としての自分の役割は、ただ管理することじゃなく、スタッフを“人として成長させる環境をつくること”だと思っています。

もちろんプレッシャーもあります。売上の数字も、スタッフのモチベーションも、どれも店長の責任として背負う部分です。だからこそ毎日、店の空気を感じ取りながら、スタッフの表情や会話にも気を配るようにしています。雰囲気がいい日ほど、売上も自然と伸びる。美容室はチームで成り立っていて、誰か一人が輝けば店全体が明るくなります。その循環を守ることが、自分にとって一番大切な仕事だと思うようになりました。

美容師として10年以上経つ今でも、「自分はまだ店を通して人を育てている途中」だと感じています。技術を教えるときも、社会人としてのふるまいや考え方を伝えるときも、その根っこには「人を大切にする」という気持ちがあります。お客様とスタッフ、どちらからも信頼される存在であり続けるように、日々反省しながら成長を重ねています。



生き活き教室

室内グラウンドゴルフでリフレッシュ！

つどい会

5月13日（水）のレクリエーションは、文化センターホールと廊下、舞台裏廊下にコースを作り、室内グランドゴルフを行いました。

難関のステージ脇のスロープでは、坂の下までは順調にボールを運ばれていましたが、いざ坂を上る段階になると、力が足りなかったり、壁に当たって狙いが外れ、坂を下って戻ってきたりとなかなか登りきることができず、「がんばってー」「うあー、



スロープを登れるか…

惜しい！」などと賑やかに応援する様子も見られました。坂を上り切った後も、力加減を間違えるとまた坂を下る可能性もあり、皆さん慎重にゴールポストを狙われていました。「久しぶりにやると楽しいね」「あのホールインワンはすごかったね」と、皆さん満足されていました。



旧 須佐町中央公民館

須佐地域の洪水の歴史

須佐地域の地形は、須佐層群からなり、須佐層群を細分すれば三原流紋岩類からなり、平島礫岩層、前地砂岩層、下部は高山頁岩層、高山砂岩層、上部高山頁岩層からなります。

したがって、土質は必ずしも肥沃な大地とは言えないのが事実で、シダ山に原子植物の松が生えているものと言え、落葉樹的な樹木は少なく、山自体が落ち葉による体積は少なく、必ずしも保水力を持っている山とは言えず、雨が降れば流れ出るという河川の状態であると言えます。

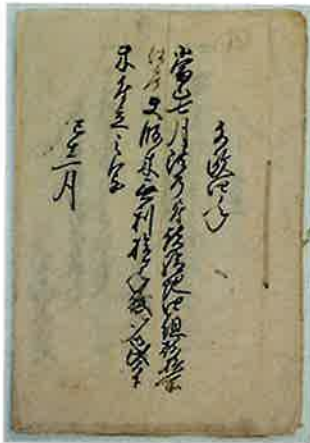
したがって、洪水による被害が昔から続いていることが伺えます。

記録によれば、寛永12年(1635)防長両国洪水。萩城下の被害莫大となるが、一番古い記録で残っています。その後も承応2年(1653)防長両国に大風雨が襲う。延享2年(1745)

防長両国が大雨洪水に見舞われる。

そして、文政3年(1820)須佐・鈴野川・弥富・上小川・下田万領内に洪水発生。そして、以前紹介しました床置裏書による記録(阿武・大津2郡洪水起こる)があります。

このように頻繁に洪水が発生していることが伺えます。そして、洪水が発生するたびに、当時の領主益田家が、その支援に動き出していた記録も残っています。



文政4年の記録

文政3年の記録には、領内の河川改修等の人件費等の記録があり、また、翌年の文政4年に発生した災害では、洪水により難渋した家来や百

主な須佐地域の災害の歴史

- 寛永12年(1635) 防長両国大雨洪水。萩城下の被害莫大となる。
- 承応2年(1653) 防長両国に大風雨が襲う。
- 延享2年(1745) 防長両国が大雨洪水に見舞われる。
- 文政3年(1820) 須佐・鈴野川・弥富・上小川・下田万領内に洪水発生。
5月22、23日
- 文政4年(1821) 阿武・大津2郡洪水起こる。弥富の字小垣より古川上田中に河水氾濫し、その区域は全部侵害する。
7月20日
- 天保元年(1830) 須佐本町上床上15cm浸水(床置裏書による記録)
- 大正8年(1919) 須佐唐津地区大洪水により壊滅状態となる。
7月 洪水被害がでる。須佐/浸水家屋350戸、橋流出2、家屋流出2、堤防決壊11ヶ所ほか。弥富/浸水家屋18戸、橋流出10、堤防決壊18ヶ所ほか。
またまた水害被害でる。須佐/家屋半壊3戸、浸水家屋200戸余り
- 同年9月 大洪水須佐川氾濫被害でる。
- 大正11年(1922) 須佐で大雨のため、堤防、橋、家、田畑流され、山崩れあり大災害。
- 大正12年(1923)
- 昭和16年6月27、28日 須佐で大雨、行方不明1名、家屋浸水170戸 須佐川
筋堤防破損7ヶ所、延長200m、各地区道路破損10ヶ所、被害額1万円
- 昭和25年9月13、14日 台風29号(キジア台風)による大水害で、須佐・弥富で大きな被害がでる。
- 昭和26年10月 水害により須佐・弥富で大きな被害がでる。紹幸寺山門流出。
- 昭和37年7月 豪雨による被害がでる。
- 昭和47年7月 豪雨による被害がでる。被害額1億7000万円
- 昭和58年7月20-23日 集中豪雨で死者4名。河川、家屋、道路等大きな被害をうける。被害総額23億円。益田市・田万川町等と共に災害救助法適用。連続雨量408mm
- 平成3年9月 台風19号暴風雨により人家・田畑・山林に被害。被害総額1億8860万円 (参考文献/須佐町誌等)

姓に至るまで、家格(家の評価/位)により貸米銀を与えた記録が残っています。

領地内各村ごとに水害により貸し付けられた米等については、概ね1年かけて返却されました。

このように今も昔も災害に対す

する救済制度があったことに驚きです。こうして、領地を守るという治水事業に長けていた益田家ならではの制度だったのかも知れません。

(つづく)

ぶらぶら
タムラ

まち
あるき



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶら
タムラが、わが町を紹介します。
今回は、前回に引き続き「禁門の
変と須佐」須佐兵達の活躍を紹介し
ます。

須佐兵参戦の様子

記録によりますと戦いは次々と
届く敗戦の報告で、益田家上士の
益田丹下（橋詰益田）は、益田親
施公に度々進言して、軍を徹して



益田親施公肖像画

帰国すべきとの議を發したので、
ついに親施も撤退を決意したと言
われています。

そして、わずかな手勢を率いて、
山崎から大阪へと退去しました。

ここで須佐兵はどのように、この
戦いに参加したのか検証してみま
す。記録は、須佐の増野又十郎が率
いる一隊が久坂玄瑞に従って、京都
御所堺町御門に達して戦闘に参加
し、活躍をしています。

「久坂義助（玄瑞）各藩浪士ヲ指揮
シテ、竹田街道ヨリ進ミ、鷹司邸ニ
入ル。小国融蔵（第5代育英館館長）
軍監、大谷樸助（斥候使者）、田村育
蔵（役目不詳）、河上範三等此ノ中ニ
アリ。我ガ須佐兵ハ組士、遊軍半隊、
町兵新撰隊半隊ヲ合シテ、増野又十
郎司令官トナリ、久坂氏ノ軍ニ従ウ」
と「回天実記」に記されています。

重傷を負った久坂玄瑞と一緒に
切腹しようとしたが、小国融蔵、
大谷樸助に久坂はそれを許さず、後
事を託されたため敵の囲みを破っ
て、天王山まで帰ってみれば、益田
親施はすでに退去した後であった
ので、須佐まで苦勞を重ねて帰っ
いたのでした。

なお、ここで注意して頂きたいの
は、京都では益田親施は逃げ出した
との評判が残る、後々尾を引くこと
になります。前項で紹介したよう
に、その時の親施の役割は、定広公

（藩主敬親の子）が、三田尻を出航し、
京都に向かったことを差し止める
ために先を急いだのだと言われて
います。当時の汚名を正していかな
ければならないと元須佐郷土史研
究会会長西村武正さんは長年訴え
ておられましたので、改めて皆さん
に知っておいていただきたいと思
います。

禁門の変での殉難者は、主に次の
通りです。

・ 元治元年7月19日
田村育蔵直道 30歳
鷹司邸にて自決

・ 元治元年7月19日
中村惣治藤信 33歳
戦死場所不明

・ 元治元年7月19日
中尾易三郎宣足 32歳
戦死場所不明

・ 元治元年7月19日
清治（中間） 32歳
戦死場所不明

・ 元治元年7月19日
澄川健蔵正義 23歳
負傷自決

この禁門の変では、敗戦による総
崩れの中で、陸上又は淀川の船上で
長州兵は、追討軍に殺された者も数
知れず居りました。ついに、7月21
日には、新撰組や会津、桑名藩兵に

包囲された天王山の真木和泉らも、
本営に火を放って切腹し、後には黒
こげになった死体17体が転がって
いたといわれています。このわずか
一日足らずの戦闘で、砲火に見舞わ
れた京都市中は混乱を極めました。
焼失した戸数は、公卿の屋敷だけ
でも数十戸、市中では2万8千戸に
達し、火災は31日朝まで続いて、鴨
川の河原や諸街道は避難民であふ
れました。



禁門の変を描いたかわら版

長州藩邸や堺町御門から出た火
が、手のほどこしようにもなく燃え広
がるありさまを京都の人たちは「ど
んどん焼け」「鉄砲焼け」などと称し
ました。

つづく



庭作業の合間でセミの真似

まいど！
地域おこし協力隊の山本です。新緑が気持ちいい季節、皆様いかがお過ごしですか？
実は最近、自宅の庭で家庭菜園を始めました。去年はサボっていたのですが、今年は耕運機を譲っていただいたので、自分で修理して耕しています。鍬（くわ）を振らずに土を起こせる楽さにはまり、今年は妻と2歳の息子と共に楽しんでいきます。（もともとだらしない性格なので色々後手後手、土づくりも適当ですが…！）。



現在植えているのは、ジャガイモ、ミニトマト（赤・黄）、きゅうり、カボチャです。2回目の挑戦となるジャガイモは、肥料がしっかり効いたのかすこぶる順調！ミニトマトもお隣の師匠にご指導いただき、脇芽を取って好調！ですが、きゅうりは3本のうち1本を息子に抜かれて枯れてしまいました。さらに最近では、きゅうりとカボチャを襲う大量のウリハムシに苦戦中です。あと毎日のようにアナグマがやってきて、穴を掘っています（早く柵を作らねば…！）。
こんなハブニングだらけ、適当にやっている超初心者ですが、このコーナーを使って、皆様の「自慢の畑やお庭」をゆるやかに数珠（じゆず）繋ぎで紹介できたらおもしろいかなと思っています。
「ウリハムシやアナグマの対策を教えてやるよ」「うちの畑も見にくるかい？」という大先輩の皆様、ぜひ公民館の山本までお知恵を貸してください。次回、温かいバトンが繋がるのを心待ちにしています。どうぞよろしくお願いいたします！
おおきに！
追伸…イヤイヤ期の息子との向き合い方も、どなたかご教授ください（切実に募集中です…！）。



●【地域・職域団体の部】
銅賞 須佐公民館放課後子ども教室



●【個人の部】
金賞「キンセンカの盛り花
フラワーランド賞」
柴田静江（中津）

今回は、萩市内の個人・団体41件の応募中、須佐地域からは5件の応募があり、それぞれ部門ごとに表彰されました。

萩市春の花いっぱいフェスティバル

審査結果

●【学校の部】

奨励賞：育英小学校

銅賞：須佐中学校

●【地域・職域団体の部】

新人賞：須佐保育園



地域トピックス

大型連休の賑わい あつという間……!!



皆さん、ゴールデンウィークは、何をして過ごされていましたでしょうか。旅行に出かけたという人もおられたと思います。

須佐地域では、5月2日（土）から6日（水）までの連休中、いかマルシェでのイベントや須佐湾フィッシングパーク、ホルンフェルスなど、多くの人が賑わっていました。

須佐駅前では…

5月3日（日）、須佐駅のいかマルシェ前では、「わくわくフェスタ」が開催されました。主なイベントは、須佐の特産品が当たるガラポン抽選会（2日間）や須佐ふれあい花壇のチューリップのフォトコンテスト表彰式。また、一ヶ月前から活動を始められた、須佐地域の子も達によるチアダンスの披露がありました。

地元の住民や県内外からも多くの観光客が訪れており、いかマルシェで特産品の買い物やフォトコンテストの写真を見られるなど、雨の降る中でしたが、賑わいを見せていました。初めてのチアダンス披露は、衣装もそろえて元気に踊っていました。



須佐駅前でチアダンスを踊る子ども達



「保育園帰りのお散歩」 松原佑奈（萩市）

須佐湾フィッシングパーク 須佐ホルンフェルスでは…

5月5日（火）は「子どもの日」。須佐湾フィッシングパークでは、朝早くから車の列があり、親子連れの観光客も多く訪れていました。

当日、午前中では、お客さんに貸す釣り竿が全部出てしまつて、後から来られた方は、竿が戻ってくるまで待っている状況でした。魚はあまり釣れなかったようですが、家族そろつての魚釣りは、子ども達にとつ



イカマルシェ前では揚げ物や弁当も販売



水槽のイカもたくさん!



上も下も 人の多さに圧倒!

須佐ホルンフェルスも、ホルンフェルスまでの道のりを歩いている人や、断崖から下をのぞき込んでいる人、下へ降りて断層を間近で見ている人、写真を撮る人など、多くの観光客で賑わっていました。



桟橋で釣りを楽しむ観光客

ていい思い出になったのではないでしょう。

昭和101年

山岡保治

今昔物語



カメラで昭和を追う・・・

須佐で生まれた山岡保治さんは、国鉄の機関士を務めながら、暇な時間を利用し、自然に満ちあふれる「須佐の昭和」を、フラインダー越しに記録に留められた方です。特に昭和の遺産でもある「蒸気機関車（SL）」は、昭和のヒトとモノそして夢を運んできました。

山岡さんが残した昭和の記録は、次の時代につながる貴重な資料として、写真フィルムを須佐歴史民俗資料館に寄贈頂き、只今データ化を進めています。貴重な資料の中には、良き日の昭和の日本の風景が沢山収められています。

つきましては、昭和の須佐の風景を現在と見比べながら、今回から「須佐の今昔物語」として公民館だよりに掲載していきたいと思えます。懐かしい須佐の風景と共に、元気だった人々の生活を重ね見て頂けたらと思います。



◀昭和36年馬車で荷物を運ぶ（須佐駅前）



【注意】

スマホの偽警告に気を付けて！

この画像のような「ストレージがいっぱいです」や「PDFリーダーのバージョンが古いです」、「写真を復元出来ません」などの警告は偽物です。押さずに無視してください。これを押ししてしまうと、悪意あるアプリ（勝手にお知らせを出しまくるやつ）が入り、最悪の場合、スマホの操作が出来なくなってしまうことがあります。おかしいな、不安だなと思った際には、まず周りの人に相談してみてください。

須佐公民館でもスマホなんでも相談所を定期開催しています。次回は6/8(月)です。地域おこし協力隊の山本が1日おりますのでお気軽にお越しください。

お使いのiPhoneのストレージがいっぱいです

電話機のストレージがいっぱいです。
適宜整理を行わない場合、
一部の機能が停止する恐れがあります。
よろしければ、今すぐ整理しますか？

はい

益田家墓所の清掃活動

5月10日（日）、今年も益田木鶏クラブの会員7名と須佐から4名が参加し、益田家墓所の清掃を行いました。草刈りや落ち葉掃きなど皆で道具を持ち寄り、約2時間できれいな墓所に生まれ変わりました。墓所の中には、腐食が進んでいたり大風が吹いたことで、墓石などが一部崩れているところもありました。できる範囲で、須佐地域に残すべき文化財を守っていかうと思います。



清掃後の益田木鶏クラブと須佐の参加者の合同記念写真

生涯学習作品コーナー

おもしろ学級

「パッチサークル」 会員募集！

須佐公民館で開催されている、「パッチサークル」は、現在会員4名ですが、それぞれの都合でなかなか全員が集まって活動することが少なくなり、現在、活動日や活動時間が減っている状況です。そこで、地域の皆さんから会員の募集をします。初心者の方も、会員の皆さんが丁寧に教えてくれますので、気軽に応募ください。

●活動日 毎月第2・4火曜日
9:30～15:30

●場 所 須佐公民館

●会 費 無料

●お問合せ先

須佐公民館 Tel 6-2310

担当：緒方



【俳句】

彼岸会に仏前ほのかによもぎ餅

(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

カップ麺5分待てずして蓋を取る

麺はまだよとフツと息をす

(青葉台) 田村雅利



遠く居ても何も出来ぬとわびる子に

優しい気持ち何より嬉しと

(山根丁東) ゆめはるか



大塚 均 (1911-1998)

SL 切手シリーズ D51・C57

SLシリーズ切手は、蒸気機関車(SL)を題材にした記念切手シリーズです。1974年から1975年にかけて発行されたものがあり、全10種で構成されています。

第1集は、日本を代表するSLとして知られるC57形と、貨物輸送で活躍したD51形が描かれています。力強いD51と美しいC57のコントラストが魅力的です。

昭和49年11月26日20円、記念切手が発行された。大塚均63歳筆の作品です。



このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

須佐の偉人伝 大塚均

110

2026		6月 地域カレンダー		須=須佐公民館 弥=弥富公民館 生=生き活き教室 学=学校・保育園行事 スポ=スポーツ関係 保セ=保健センター 子=子ども対象行事 弥G=弥富グラウンド		
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1 ●ピンポンクラブ 13:30	2	3 ●歩こう会 8:45	4 ●生き活き体操 8:45	5 	6 ■鈴野川ほたる祭り 17:00
7 ●須佐ソフトバレーボール大会(須中)8:30 ●弥富グラウンドゴルフ大会(弥G)8:30	8 ●スマホ相談所 8:30 ●エコクラフト 9:30 ●ピンポン・ポッチャ 13:30	9 ●パッチサークル 9:30	10 ●つどい会 10:00 ●色えんぴつ画教室 13:30 ●スマホクラブ 13:30	11 ●習字教室 13:30	12 ●さつき学級 9:30 ●手芸クラブ 9:30 ●囲碁・将棋 13:30	13
14 ●韓国カフェ 13:30	15 ●ピンポンクラブ 13:30	16 ●あおば勉強室 13:30 	17	18 ■生涯学習作品展示準備 13:00 ●保育園参観日 子育て講座 ●育英小参観日	19	20 ■生涯学習発表会 作品展示~22 ●須左中オープン スクール
21 ■特別公演 ふれあいコンサート 14:30開場 15:00開演 家庭の日	22 ●エコクラフト 9:30 ●ピンポン・ポッチャ 13:30	23 ■生涯学習作品片付 ●パッチサークル 9:30	24 ●色えんぴつ画教室 9:30 ●音楽療法 13:30 ●弥Gを楽しむ会 9:30	25 	26 ●手芸クラブ 9:30 ●囲碁・将棋 13:30	27
28	29 ●ピンポン 13:30	30 				

須佐ポッチャ大会 参加者募集!

○日時 7月19日(日)
9時開会
○場所 須佐公民館
須佐文化センター

※詳細は、回覧チラシを
ご覧ください

●須佐さつき学級
「スポーツウエルネス
吹矢体験会」
○とき 7月16日(木)
午後1時30分
○ところ 須佐文化センター
○講師 草野隆司(大井)
○申込み 須佐公民館
TEL ⑥2310へ



●弥富さつき学級
「グラウンドゴルフ」
○とき 6月12日(金)
午前9時30分から
○ところ 弥富グラウンド
※雨天の場合
弥富交流促進センター
○持ち物 室内履きシューズ
(雨天の場合)
○申込み 6月8日(月)までに
弥富公民館 ⑧2044へ

伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は「21日」です
★家族みんなで過ごしましょう!

須佐地域の人口 (R8.4月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	905戸	1,571人	(△9人)
弥富	204戸	379人	
合計	1,109戸	1,950人	(△9人)

昨年比 世帯数△24人 人数△60人

編集後記

平成25年の豪雨災害から13年が過ぎようとしています。災害後復興コンサートとして中島剛さんがピアノ演奏をし、疲弊した心を癒して下さったのが昨日の事に感じられます。
そして、「音楽って良いよね!」「元気を取り戻すことができた」と被災者が何度もお礼を言われたことを覚えています。
そして今年、あの時の感動を11年ぶりに須佐文化センターでふれあいコンサートが開催されます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

Y